

1 研究主題

「組織力を高め、人を育てる学校経営」=第17次研究(2年次)

【視点①】意図的に全体を導くためのリーダーシップ

【視点②】計画的に組織・システムを運用するためのマネジメント

2 研究推進の概要

- (1) 第17次研究の2年次として研究に取り組んだ。推進計画では、研究の目的を「学校の教育力の向上（教育の質を高める）」として取り組んできている。3年間の長期的な視野で『組織力を高め、人を育てる学校経営』を充実させることにより、学校の教育力の向上を図り、これらの取組を通して、「学力向上」と「人材育成（管理職候補者の育成）」を目指すこととしている。
- (2) 年度当初に「研究の手引き」を作成し、研究のねらいや推進方法を具体的に示し、共通理解を図った上で計画的に研究を推進した。
- (3) 町村校長会ごとに研究主題に沿って研究に取り組み、管内4つの「ブロック研究会」でその成果や課題を発表・協議し、研修を深めた。
- (4) 「後志小中学校長会研究大会」を開催（会同：半日日程）し、2ブロック2町村が提言を行い、全体・グループで協議を行った。
- (5) 第17次研究（2年次）の活動内容や研究の成果と課題を整理し、研究のまとめとして「研究紀要」を作成した。

3 研究の成果と課題

【成果】

- ・研究大会のグループ協議において、協議の柱を『「人材育成」「組織力向上」に向けた戦略的な経営のあり方』とし、小学校プロジェクト研究で取り組んでいる「多様な視点で見る『研究・研修』の考え方』の資料と「作業シート」を活用することとした。マネジメントの指標にあるアセスメントやファシリテーションを意識した協議を進めることができた。
- ・後志管内においても義務教育学校の開設や小中分離型の小中一貫教育実施に向けての動きがあり、それを踏まえた提言発表がなされた。「今ある教育の状況を子どもや保護者、地域の視点で見直すなど、現状を把握しての情報収集と分析を行い、関係者間で共有を図ることが大切である。」との提言を受け、その後のグループ協議に生かすことができた。

【課題】

- ・第17次研究の総括を土台に、第18次研究は「人材育成・組織力強化を目指す校長の職能向上」に焦点化した取組を進める。
- ・学校教育を取り巻く情勢の流れが加速し、3～4年後には会員が大きく入れ替わることも考え、単年度研修としながら、喫緊の課題に沿った取組とする。
- ・R8年度は岩内・共和校長会とする。

1 研究主題

「組織力を高め、人を育てる学校経営」
人材育成と組織づくりを進めるための校長としての資質能力の向上
～アセスメント能力・ファシリテーション能力の向上を目指して

2 研究主題設定の趣旨

学校においては、校長のリーダーシップの下でこれらを実現し、よりよい学校教育を推進していく責務を担っている。そのためには、学校がチームとして機能するための「組織力の向上」が重要であり、学校としてこれからの後志の教育を担っていく「人材の育成」が急務である。そこで、本研究においては、組織力の向上と人材育成のための校長の職能向上、とりわけアセスメント能力、ファシリテーション能力の発揮と向上を研究の要として取り組むこととする。

3 研究内容

- (1) 第18次研究推進計画《単年度》の研究推進
- (2) 組織的な研究推進のための研究組織と研究体制の確立
- (3) 町村・ブロック・管内全体の系統性のある研究の推進
- (4) 道小・道中の研究内容との関連性を重視した研究の推進
- (5) 全国・全道研究大会の提言のためのプロジェクトチームの設置

4 研究推進計画

- (1) 「研究の手引き」「研究紀要」の発行
- (2) 町村校長会単位の研究推進
- (3) ブロック研究会の開催 [9～10月]
- (4) 管内研究大会の開催 [令和8年10月20日(火) : 倶知安町]
- (5) 全道・全国大会への積極的参加
- (6) プロジェクト活動の推進
- (7) 第19次研究推進計画策定

5 研究組織

- (1) 研究組織
 - ① 管内校長会研修部
 - ② ブロック研究推進委員会
 - ③ 町村校長会

- (2) ブロック
 - 南ブロック (島牧村、寿都町、黒松内町、蘭越町、ニセコ町)
 - 山麓ブロック (真狩村、留寿都村、喜茂別町、京極町、倶知安町)
 - 岩宇ブロック (岩内町、泊村、共和町、神恵内村)
 - 北ブロック (積丹町、仁木町、赤井川村、古平町、余市町)

6 その他